

第 147 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 4 年 2 月 3 日（木）15：30～16：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 議題（1）について検討した結果、宮古地域では新規陽性者数が減少し、病床利用率50%未満を維持していることから、令和4年2月7日から措置区域外とすることを決定した。
- ◇ また、沖縄県対処方針を変更し、措置区域外の地域に対する要請事項の追加を決定した。

<その他>

- ◇ 総括情報部から、沖縄県ワクチン追加接種推進期間及び第2次沖縄県新型コロナウイルスワクチン接種基本方針の改定案について報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、日下 県警本部長、金城 知事公室長、平田 財政統括監、儀間 企画調整統括監、松田 環境部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、下地 農政企画統括監、金城 土木企画統括監、下地 産業振興統括監、宮城 文化観光スポーツ部長、長嶺 出納事務局参事、佐次田 教育管理統括監、我那覇 病院事業局長、長濱 企業企画統括監、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、高山 政策参与、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

（1）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

➤ 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料1】

- ✓ 2/2 の新規発生 784 名、合計 84,327 名、入院中 429 名、うち重症 5 名、うち中等症 291 名、入院・療養等調整中 1,094 名、宿泊施設療養中 466 名、自宅療養 5,462 名、入院勧告解除確認中 12 名で療養中患者計 7,463 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料 2】
 - ✓ 2/2 の米軍基地内陽性者数は 42 名。
 - ✓ 12/15 以降、米軍基地において 6,915 名の陽性者が確認されている。
 - ✓ 所属基地不明で報告される陽性者数が多くなっている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-11】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 判断指標について、新規陽性者数（直近 1 週間合計）はレベル 4、病床使用率はレベル 3、重症者用病床使用率はレベル 2 となっている。
 - ✓ 新規陽性者数は徐々に減少しているが、病床使用率は高止まりの状況。
 - ✓ 直近 1 週間の新規陽性者数の前週比は 0.76 となっている。
 - ✓ 一般病床の使用率は 94.4%となっている。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 401.92、全国 12 位の状況。
 - ✓ 飲食店巡回活動について、1 月上旬まで休業要請に応じていた店舗が 1 月下旬には営業を再開する事例が増えており、協力金の期間更新時期である 2 月以降、営業再開する店舗が更に増えるおそれがある。
 - ✓ 沖縄県疫学・統計解析委員会の報告によると、実効再生産数については、沖縄本島 0.86、宮古 0.84、八重山 1.48 となっており、八重山を除き、流行のピークは越えたものと考えられる。
 - ✓ 年齢階級別の増減率を見ると、70 代を除き減少に転じている。
 - ✓ ワクチン接種回数別に入院受療率を比較すると、40-59 歳、60-79 歳、80 歳以上のどの階級においても、3 回接種者は 2 回接種者より低く（統計学的有意差なし）、2 回接種者は未接種もしくは 1 回接種者よりも低く（統計学的有意差あり）になっている。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、KDDI Location Analyzerによる分析結果を報告。
 - ✓ 繁華街エリアについては横ばい、商業エリア、空港エリアでは人流が増加しており、まん延防止等重点措置の効果について注視が必要。

(6) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 全年齢層で感染が見られるが、高齢者が30%程度、10歳未満の世代が12%程度を占めており、比較的多い状況である。
 - ✓ 最近では接待を伴う飲食店での感染事例が目立っている。
 - ✓ 4つの福祉施設でクラスターが発生しており、拡大防止に取り組んでいるところである。
- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 八重山でも10代、10歳未満が感染者の3割強を占めている。
 - ✓ 1月までに確認されていた福祉施設でのクラスター事例については収束に向かっている。
 - ✓ 管内の離島でも感染事例が確認されているが、八重山病院、各診療所と連携しながら対応できている状況である。

(7) PCR検査事業の状況について【資料7】

- 時間の都合上、説明を割愛。

(8) ワクチン対策チーム進捗状況報告について【資料 8】

- 総括情報部から、住民向けワクチン接種進捗状況等について報告。
 - ✓ 2/1 時点で1回目のワクチン接種が完了した人は 1,044,740 人となっており、接種率（県全体）は 70.3%となっている。
 - ✓ 2/1 時点で2回目のワクチン接種が完了した人は、1,030,909 人となっており、接種率（県全体）は、69.4%となっている。
 - ✓ 2/1 時点で3回目のワクチン接種が完了した人は、66,809 人となっており、接種率（県全体）は、4.5%となっている。
- ※高齢者の接種数は 31,627 人（9.5%）となっている。
- ✓ 1月までの追加接種対象者累計数に対する接種率は 41.77%となっている（全国4位）。

(9) 空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 9】

- 文化観光スポーツ部から、空港 PCR 検査プロジェクト・TACO・RICCA の状況について報告。
 - ✓ 空港 PCR 検査プロジェクトについて、1/24 の週の受検者は 2,836 名で、その内 52 名が陽性であった。
 - ✓ 那覇空港抗原検査について、1/24 の週の受検者は 347 名で、その内 2 名が陽性であった。
 - ✓ TACO について、1/24 の週のサーモグラフィー通過者は 57,508 人で、その内発熱者は 0 人であった。
 - ✓ RICCA について、1/28 時点の登録者数は 134,638 人となっている。

(10) その他報告事項について

- 病院事業局から、県立病院の状況等について報告。
 - ✓ 2/3 時点の県立病院の入院患者数は 107 人であり、新型コロナ病床の稼働率は 46.5%となっている。
 - ✓ 各病院からは、感染拡大のピークは過ぎた印象があるものの、医療現場が逼迫している状況は続いており、引き続き病床の確保に取り組んでいるとの報告があった。

3 議題

(1) 沖縄県対処方針の変更案について

- 総括情報部より、沖縄県対処方針の変更案について説明。
 - ◆ 現況について
 - ✓ まん延防止等重点措置の指定に伴う対策により、オミクロン株による爆発的な感染拡大抑制は一定程度達成されている。
 - ✓ 感染拡大が続いていた高齢者の感染者数については横ばいの状況が続いており、入院者の減少には至っていない。
 - ✓ しかしながら、宮古地域では病床使用率が 50%未満 (39.4%)、人口 10 万人あたりの新規陽性者数が 200 人未満 (187.05)、新規陽性者数の前週比 1 未満の日が 15 日間継続となっており、措置区域の解除基準を満たしている。
 - ✓ 上記の状況から、宮古地域について、地域の意見も参考に重点措置区域の解除を検討する必要がある。
 - ✓ なお、本島周辺離島も人口 10 万人あたりの新規陽性者数が 141.74、新規陽性者数の前週比 1 未満の日が 9 日間継続しており、解除基準を満たしているものの、医療提供体制が本島と同一であることから、措置を継続し状況を注視する必要がある。

◆ 措置区域外の飲食店、施設等に対する要請内容について

- ✓ 措置区域外の飲食店については時短営業要請を終了するものの、これまでと同様に感染防止対策の徹底、業種別ガイドラインの遵守、利用者の人数制限等の対策を継続するよう要請する。
- ✓ 措置区域外の商業施設等に対してもこれまでと同様に、業種別ガイドラインの実施、入場者に対するマスク着用の周知、感染防止対策を実施しない者の入場禁止、会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置等の対策を継続するよう要請する。
- ✓ 措置区域外の学校等に対しては、衛生管理マニュアル等に基づき、学校教育活動、課外活動及び学生寮での感染防止対策を徹底することを要請する。ただし、学校等の感染状況に応じ、学級閉鎖等を実施することとする。
- ✓ また、これまでと同様にオンライン等を活用した学びの場の確保、児童生徒の健康観察の徹底の呼びかけ等を継続することを要請する、
- ✓ 部活動については、感染防止対策を徹底し、平日 90 分以内（早朝練習なし）、土日休日 2 時間以内の活動とし、活動開始時・各種大会前には健康チェックを行うことを要請する。

（議題（１）に関する発言等について）

- ✓ 宮古地域の措置区域解除について、解除要件を満たしてはいるもののギリギリであること、地域医療の逼迫は続いていること、３回目の予防接種が始まったばかりであることを考慮すると、あと 1 週間程度様子を見てはどうかとの意見があった。
→総括情報部から、宮古地域は解除要件を満たしている以外に、予防接種が比較的進んでいること及び地域の要望もあることから、感染防止対策の継続を条件に解除を検討していることを説明。

- ✓ 観光業のかき入れ時である GW まで解除せずにしっかりと流行を抑え込む必要があるとの意見があった。
- 議題（１）について検討した結果、宮古地域では新規陽性者数の減少し、病床使用率50%未満を維持していることから、令和４年２月７日から措置区域外とすることを決定した。
- また、沖縄県対処方針を変更し、措置区域外の地域に対する要請事項の追加を決定した。

4 その他

（１） 沖縄県ワクチン追加接種推進期間について

- 総括情報部から、沖縄県ワクチン追加接種推進期間について報告。

◆ 目的について

- ✓ 医療従事者等及び高齢者施設等の入所者等並びに一般高齢者への追加接種の前倒しに積極的に取り組む。
- ✓ また、追加接種の予約状況に応じて、接種の対象者を 64 歳以下の者まで拡大し、早期のワクチン接種を呼びかけ、追加接種の推進を図る。

◆ 取組内容について

- ✓ 2/5 から運営が開始される県広域ワクチン接種センターにおいて、2 回目接種から 6 か月以上経過した 64 歳以下の者も対象に追加する。
- ✓ 市町村の集団接種会場の弾力的運用及び接種対象者への接種券の速やかな発送について、市町村へ働きかける。
- ✓ 新型コロナウイルスワクチンに関する県民意識調査を実施する。
- ✓ 追加接種及び交接種に関する理解を広めるため、広報を強化する。
- ✓ 市町村において、高齢者等の集団接種を進める。
- ✓ 追加接種にかかる接種券の速やかな提供について市町村へ働きかける。

(2) 第2次沖縄県新型コロナウイルスワクチン接種基本方針の改定案について

- 総括情報部から、第2次沖縄県新型コロナウイルスワクチン接種基本方針の改定案について報告。

◆ 改定の理由について

- ✓ 沖縄県は、令和3年12月16日に、重症化予防等の観点から、初回接種の継続及び追加接種等を記載した基本方針を策定したが、策定後、①追加接種における前倒しの考え方が国から示されたこと及び②2月5日に県広域ワクチン接種センターを開設することから当該基本方針を改定することとした。

◆ 主な変更点について

- ✓ 追加接種は、初回接種終了から原則8カ月以上経過した者に行うこととなっているが、今般の国からの前倒しの考え方を踏まえ、医療従事者等及び高齢者施設等の入所者等並びに一般高齢者は、初回接種終了から6か月、その他一般の者は、7か月経過後の接種を積極的に推進する。
- ✓ また、ワクチンの量や接種体制等に余力がある場合、上記に関わらず、ワクチンの有効活用等の観点から最大限活用して、順次、初回接種終了から6か月経過後の接種を行うこととする。
- ✓ 市町村が行う初回接種及び追加接種を補完し、モデルナ社製ワクチン及びアストラゼネカ社製ワクチンの接種機会を提供するため、令和4年2月5日から「沖縄県広域ワクチン接種センター」を沖縄県北部合同庁舎、結婚式場 NBC 沖縄及び那覇クルーズターミナルに設置し、市町村と連携して、接種の推進を図る。
- ✓ その他に、沖縄県モデルナワクチン接種センターの閉場日の記載（令和4年2月6日まで）及び追加接種の工程表を追加する。